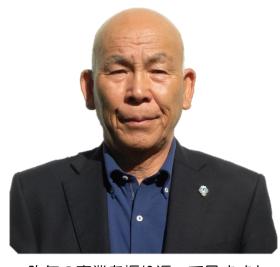
大町高龍サポーターの会会教

N o 93

2023 年 1 月発行 大町病院サポーターの会

発行責任者降簱剛

新年のご挨拶



サポーターの会 会長 降籏 剛

あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様と新年を迎えたこととお慶び申し上げます。 昨年は、当会の活動にご支援、ご協力をいただき、心よ り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症は、2019 年の 12 月中国の武漢市で感染者が報告されてから数か月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました、中国での「ゼロコロナ」政策は事実上崩壊したといってもいいと思います、今中国では一日に 100 万人規模で感染し、感染のピークを迎えようとしている様です。

手洗い・アルコール消毒・密集を避ける・マスクの着用・ ワクチン接種、が一番の予防対策だろうと思います、今年 も、皆さん一緒に感染予防に努めていきましょう。

昨年の事業を振り返って見ますと、コロナ禍により幹事会・会報の発行・病院周辺の整備・イルミネーションのセットについては実施されましたが他の計画は全て中止となりました。

2020 年 7 月以降、院長先生、医師の皆さんとの交流事業ができていないことは、コロナ禍により心身共に疲れているとき時こそ必要な事業だけに残念でなりません。

高橋次長さん始め役員が有機栽培による夏野菜、秋野菜を作り種類も多くその都度病院の先生方に夏の味、秋の味を感じていただいてます、大変なご苦労をいただき感謝に堪えません。

当会では、4年度より組織の活性化と任務の分担を総務・交流・環境・広報部会の運営より組織の強化を計ってきましたが、部員数が少なく活動に支障が出ています、会員の皆さんの中で大町病院を応援するために部員として入っていただける方を探しています、参加していただける方、紹介をしていただける方は是非とも連絡をお願いします。

また、大町病院におきましては、コロナ過と同時に感染症指定医療機関として今日まで感染患者の受け入れ、治療に携わってきました、医師の皆さんをはじめとする病院職員の皆さんは緊張の中、体力・気力ともに限界を感じての業務であったと思います、感染症指定医療機関の責務を果たしてこられましたことに感謝を申し上げます。

結びになりますが、会員の皆さま、院長をはじめとする病院職員の皆さんが、今年もよい年でありますようご祈念申し上げます。



サポーターの会の入会連絡は

090—4464—2235 090—4054—2747 降旗 剛高橋 博久

までご連絡ください。

新年のご挨拶

藤本 圭作 病院事業管理者 • 病院長



大町病院サポーターの会の皆さん、新年明けましておめでとう ございます。旧年中は大変お世話になり有難うございました。

旧年中もずっと、オミクロン株の感染拡大に悩まされ、11月には院内感染の拡大によって、一部の病棟を閉鎖、コロナ陽性および濃厚接触による医療スタッフの就業制限、予定手術の制限、さらに発熱外来を含む外来診療を制限せざるを得ない状況に陥ってしまいました。県下のほとんどの病院においても院内クラスターの発生で混乱を来していました。12月6日には病棟閉鎖は解除され、通常の診療体制に戻りました。何とか短期間で収束できたのは職員のおかげです。

当院といたしましては大北医療圏における北の砦として、

コロナ禍においても救急患者および入院が必要なコロナウイルス感染患者を積極的に受け入れて参りました。また、クラスター発生となった高齢者施設には訪問診療をおこない、大北圏域のコロナウイルス陽性者に対して積極的な対応をおこなって参りました。医療スタッフ、特に看護師と感染症対策対応チームにはかなりの負荷がかかっている状況であり、医療体制がいつ崩壊してしまってもおかしくない状況下にあります。市民の皆様には、熱が出たから、あるいは風邪症状があるからといって大町病院に殺到することなく、かかりつけ医等への相談・受診、市販の抗原定性キットを用いた自己検査などにご協力をいただき、陽性であっても、軽症で危険因子の無い若い方は自宅での療養をお勧めします。定性キットを購入の際に解熱剤などを購入しておくといいですね。但し、症状が強い場合には医療機関を受診してください。今後は、インフルエンザウイルス感染症の増加が懸念されますが、12月14日現在は未だ流行はしていません。毎年、新年のご挨拶に、新型コロナウイルス感染についてお話しすることは心苦しいですが、この感染拡大とこれまでのコロナ対応がいつまで続くのか分かりません。今年こそ、コロナ禍から脱却したいものです。皆さん、コロナワクチン接種を継続しましょう。

令和4年上半期の経営状況ですが、医業収益が約2,124百万円、医業費用は、2,318百万円で医業損益は-194百万円となります。医業費用で大半を占めるのが給与費で、約1,474百万で医業費用の63.6%を占めます。医業外収益が約453百万円あるので見かけ上黒字となっています。当院が10年先も持続可能な病院経営を継続するにはどうすれば良いか。それは勿論、医業収益を増やす以外にはない。あるいは病院を縮小するといった方向もあるかもしれません。当面は給与比率(給与費/医業収益)を下げることを目標にしていますが、職員を削減するのには忍びない。松本市立病院は現在新病院建設に向けての最終案をまとめている最中だと聞きます。何と、総事業費が87億円余で、松本市から相当な繰入金も必要となります。果たして市民は納得されるのでしょうか。頭の痛くなることばかりです。

とても嬉しいこともありました。昨年4月から感染症専門の笹澤医師、家庭医療専門医師の生井先生、6月から循環器内科および救急専門の大渕先生、10月から産婦人科医の日比先生が常勤医として着任されています。分娩については、現時点で再開の見通しは立ちませんが、妊婦健診や産後ケアを中心として北アルプス地域の産婦人科医療に携わっていただきます。

また、7月に医療機能の第三者評価である公益財団法人日本医療機能評価機構による認定審査 において、感染対策の項目では2期連続最高評価(S評価=他の模範となる項目評価)を取得す るなど、機能評価を受審し、4回目の認定を受けることが出来ました。

近年、医療が進歩、細分化され、地域の人口減少と医師不足から病院間の役割分担が必須と言 われています。当院は近隣の病院、県立こども病院および信州大学医学部附属病院との連携も強 化しておりますが、国が進めている地域包括ケアシステムに向けて地域で完結できる医療体制の 構築も重要と考えています。そのためには、当院の医療体制を整備し、対応できる範囲を広げ、 さらに専門的で高度医療が必要な場合には速やかに専門病院と連携できる体制を整えることが 重要と考えています。

今年もよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

北アルプス連携自立事業・北アルプス地域・健康づくり講演会「怖い頭痛、しつこい頭痛」

講師:青木俊樹先生(市立大町総合病院副院長・脳神経外科部長)

12月17日(土)サンアルプス大町・2階大会議室

北アルプス連携自立圏事業として、北アルプス連携自立圏(大町市・池田町・ 松川村・白馬村・小谷村)主催の健康づくり講演会「怖い頭痛、しつこい頭痛」 が12月17日(土)にサン・アルプス大町2階大会議室で開催されました。 雪の舞う寒い日にもかかわらず、大勢の方の来場があり満席の盛況でした。

講演内容は、頭痛をテーマとして「こわい頭痛、しつこい頭痛」と題し市立 大町総合病院副院長・脳神経外科部長青木俊樹先生に講演していただきまし

た。日本人の3人に1人は日頃から

慢性頭痛に悩まされていると言われて

いますが、頭痛の中には命に係わる病気が潜んでいるこ ともあり、気を付けなくてはいけません。

青木先生は、頭痛に対する正しい知識を楽しくユーモ アを交えながら、分かりやすくお話していただき、合間 には頭痛体操やストレッチを折込み楽しく学ぶ有意義 な時間を過ごすことができました。

青木先生ありがとうございました。



信州大学医学部研修生を大町市内視察研修に案内しました①



11月21日、信州大学医学部5年生、渡辺 瑞紀(わたなべ みずき) さん(長野市出身)を市内視察研修に案内しました。案内役は、相澤文人 事務局次長です。はじめに鷹狩山展望台へ上り、白銀に輝く後立山連峰を 案内しました。大町の自然環境と景色の素晴らしさ、医療圏の広さを具体 的に眺望しました。そのあと、明日香荘で、標高 800m 以上の高地で作 られた八坂産そば粉で作った新そばで昼食をとりました。そのあと仁科三 湖をめぐり、若一王子神社を参拝し、大町温泉郷内を回り、ねむの木でお 茶タイムを取りました。大町の良さと大町病院のスタッフの懸命な仕事ぶ りに圧倒されたようです。

もちろん最後には大町病院に来ていただきたい旨、しっかりと市民の立 場からお願いしました。。

信州大学医学部研修生を大町市内視察研修に案内しました②



12月19日、午後半日、信州大学医学部5年生の研修生を市内へ案内しました。

是永 京子(これなが きょうこ) 出身:長野市、鳥潟 夏未(とりがた なつみ) 出身:千葉県 皆川 健斗(みながわ けんと) 出身:軽井沢町 矢口凌(やぐちりょう)出身:塩尻市の皆さんです。

市内商店街、仁科神明宮、社民俗資料館、山岳博物館、仁科3湖、若一王子神社へ案内しました。

途中昼食休憩の折に大町市の概要、大町病院の沿革、サポーターの会の経過と活動について資料を示し説明しました。風土、歴史、環境、産業、医療圏などたくさんのことをレクチャーしました。

大町病院の感想は、「先生たちとの距離が近くいろいろなことが勉強になった。」「地域医療など幅広く勉強できた。」「細かなことにも気づかされた。」など大病院と違った勉強ができたようです。



11/26(土)イルミネーション飾り付け準備



イルミネーション設置の当日、朝はあいにくの雨ふりで、準備が 危ぶまれましたが、その後は写真にある通りの晴天で、作業をし ていると、汗ばむほどの陽気でした。柳澤英幸さんに高所作業車 でモミの木に星を取り付けていただいたり、一年間で枝が伸び、 電飾が外れている個所のチェックや設営をしていただきまし た。来年は少し枝を払うなど手入れをした方がよさそうです。





12月1日(木) イルミネーション点灯式

牛越市長、藤本院長に ご挨拶していただきました。









12月2日午後6時よりイルミネーション点灯式が行われました。牛越市長、藤本院長、降籏会長の三氏によって点灯され、牛越市長と藤本院長に挨拶をいただいた後はウクレレ部の演奏で盛り上げていただきました。寒い中ありがとうございました。最後に降籏会長の「コロナ対応で大変ですがイルミネーションを見ることで少しでも暖かい気持ちになっていただけたらと思います」というあいさつで締めくくりました。



『大町病院サポーターの会からの贈り物』

キウイフルーツの差し入れです。(12月19日)



12月19日、コロナ対応に懸命の医局へ感謝の気持ちを込めてキウイフルーツ300個を差し入れしました。まだ未熟で糖分が、のっていないため「袋の中にリンゴを入れて、10日ほど寝かして、柔らかくなったら召し上がれ。」の添え書きをつけて。

長芋と新米の差し入れです。(12月27日)



年末の12月27日、降籏会長と高橋事務局次長の二人で、新米1kg、60袋と、長芋60本の差し入れを藤本圭作病院事業管理者・病院長にお渡ししました。お米は八坂産、長芋は八坂の三原農場、「ヤサカあいさいファーム」産、有機栽培されたものです。



○雪あそび交流会の開催中止について

2月5日予定で準備を進めておりました、雪あそび交流会は関係者との協議の結果、新型 コロナの感染状況にかんがみ中止とすることになりました。

なお個人的に爺が岳スキー場など市内スキー場を利用されたい方は土日祝日限定のリフト1日券が半額の2000円とレンタルスキー割引券1500円分と場内利用券500円がセットとなるサービスが受けらます。申込書はネット「大町市民限定市内スキー場リフト割引キャンペーン」検索で出てきます。

会費納入ありがとうございます(令和4年12月28日現在)

会費納入者(敬称略、順不同)

個人会費:塩入博仁 塩入優子 丸山利子 西澤ひろみ 竹村信吉 本山朋子